



豊かな秋の訪れ

個別ケアの取り組み

施設長 小川内秀樹
息をつかせない程の今夏の暑さの中、稲穂が、ほんのり黄色がかったいます。時間は何の躊躇もなく進んでくれ、次の季節の訪れを期待します。

施設では、毎月一回、夜間に、園内研修を行っています。事務、ヘルパー、医療、ケアマネージャー、ホームヘルパー、デイサービスとそれぞれの分野ごとに職員がテーマを持ち、一年積み重ねて勉強しています。実務に直結する内容である為、研究という面と実践という面を持ち、入所施設と在宅サービスとでお互いに普段見えない部分を知る事もでき、施設の中を共有する貴重な機会ともなっています。興味深いと思うのは、職員で話し合っただけで決まらずに進んでいく事、その過程と結論は、お年寄りや障がい者への介護や関わりの中で、一人ひとりに対する観察とケアの中身が中心となっていくことです。私たちのこの福祉の関わりは、ご利用者から教えられることが中心であるということ、毎日の仕事の中で自然に身につけていくからだと思います。また、環境を整える事も大事です。それは直接介護の後方支援と言っても良いでしょう。安定した環境がなければ、高度な取り組みはできません。相談支援の技術を磨くという事も福祉的には環境の一要素であり、ケアにつながる事柄です。季節は変わって行きますが、ご利用者を中心に据え、おられない一人の方を大切にすることを継続していきたいと思っております。

七月のボランティアと実習生

山田園昭様 矢花光様 白馬忠様 牧野和子様
山田千恵様 佐藤ゆう子様 風見とみ子様 協力牧師の方々
東京基督教大学実習生
職場体験ブラジル人小学生 1年生・2年生の皆さん



(NO.361)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139



松崎茂徳様

ヘルパーより紹介します

松崎様は若い頃、自動車保険業の仕事をしていました。売上げ成績はいつも上位になるほど一生懸命に働いていました。
趣味は草花を育てたり手入れをすることで、仕事に出かける前に手入れを行い、ご自宅の庭は草花を綺麗に咲かせた公園のように整えられていたようです。また、親切で社交的な性格だったため、近所の人達を自分の車に乗せて観光に出かけるなど面倒見の良い人でした。

筑波キングスガーデンの特養に入所されてからは、眼そうなど様子の時もあります。食事を自分で召し上がった後、坂東市の事をお話すると答えて下さるなど、ヘルパーとの会話も楽しんでおられます。

最近では、ご自分で歩行器を使いヘルパーが付き添って歩いてトイレに行かれるようになり、特養での生活が穏やかに過ごせるよう職員一同願っております。

家族と共に

日時

九月十七日(月)祝日
十一時～十五時三十分

当日の予定

- ★ 家族懇談会
★ 食事会
★ アトラクцион

ご家族様のお越しを心よりお待ちしております



昨年の食事会の様子

われらの力であられる神に喜び歌え。

詩篇八十一編一節

すいか割り

担当ヘルパー 野田隆斗

七月三十一日、水にすいか割りを行いました。始めに「かんの花咲く丘」、我は梅の子」を歌い、皆さん機かしく感じてもらい、手拍子をしながら歌っておられる利用者もいらっしゃいました。すいかをくち割りながらご利用者は大きいな、冷たいな」と、とても驚かれていらつしやいました。ご利用者にすいか割りに挑戦していただいた際に、周りで見ていたご利用者も、右、左」とすいかの位置を熱心に教えて下さり、すいか割れた時には、大きな歓声が上がりました。
その後は、割ったすいかをご利用の方々へ召し上がっていただき、美味しい、甘い、おかわり」と喜んでいらっしゃいました。
ご利用者の方々にとっても楽しんでいただき、すいか割りを行うことができました。



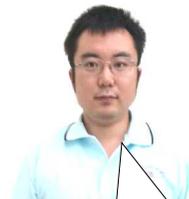
「大きなスイカだね～」



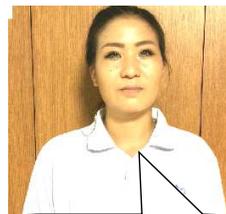
見事一撃!!

新規採用ヘルパー紹介

新しい汀 介護ヘルパー 岡野太孝



精一杯頑張ります!



一生懸命頑張ります!

編集後記
まだまだ暑い日が続きますが、体調に気を付けてお過ごしください。
ヘルパー 役野・稲葉

相談員日誌

野田 望

小さな命
昨年の夏に知人からカブト虫を何匹か貰った。子供達と飼育用の土や餌を買って楽しみながら育てた。天気の良い日はケースを掃除したり、土が乾燥しないように、一日一回霧吹きで水を吹きかけた。育ててみると予想以上に手間がかかった。しかし手間をかけた分、可愛く見えるから不思議だった。
夏の終わりに少しづつカブト虫が減っていくと、子供達も淋しそうだったが、メスが卵を四十個ほど産卵していた。子供達と、この小さな命をどうするべきか話し合い、育てることとなった。もちろん初体験の私は本を読んだり、男性職員から飼育の要点などを情報収集した。
昨秋から今春にかけて土の交換を数回繰り返して二十四匹の幼虫が順調に育った。
そしてついに六月。十八匹のカブト虫が成虫となった。夕日に浴びたカブト虫は宝石のように赤茶色に輝いていた。子供達と小さな命の輝きを感じた瞬間であった。

Table with 2 columns: Date (e.g., 八月二日, 八月九日) and Event (e.g., 聖餐式, ジャスミン理美容サービス)

8月の誕生日

鈴木マコト様 大正八年八月二日九十九歳
廣瀬昇 様 昭和五年八月二日八十八歳
中島まさ様 大正十四年八月八日九十三歳
羽黒俊 様 昭和十年八月二十日八十三歳
西山富夫様 昭和二十六年八月十七日六十七歳

お誕生日おめでとう!!

互いに助け合えるシステム作り
理事長兼総合施設長 宇都宮和子

七月十五、十六日、西日本地域に降り続いた豪雨は、大規模な被害をもたらした。死者二百八十人、不明者十四名、この被害の中、活動している自衛隊、消防隊、ボランティアさん等の姿には、只を祈る思いです。東日本震災、熊本、常総市と大きな被害が続く。美しい日本の地形が住む人の命を奪っている現状に立ち凍むばかりです。急いで広島にある貝ベタテアホームに電話すると幸い水害から守られ、施設長さんと連絡が取れ本当に安堵しました。同時に三年前の鬼怒川水害が思い出され、多くの人に支えられ、現在があることに感謝します。今、私たちが出来る事は少しですが、い何があってもお互いに助け合えるシステム作りは構築しておかなければなりません。これからは猛暑が続くと思いますが、ご利用者さんにも働くスタッフも体調を崩さないよう環境を整えていきたいと思っております。面会時、何かお気づきの点がありましたら職員にお声かけてください。